

**製品名: TAK1 ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab00387**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 67 kDa; Observed MW: 70 kDa

## 抗原情報

遺伝子名	MAP3K7
別名	MAP3K7; TAK1; Mitogen-activated protein kinase kinase kinase 7; Transforming growth factor-beta-activated kinase 1; TGF-beta-activated kinase 1
遺伝子 ID	6885
SwissProt ID	O43318
免疫原	抗血清はヒト MAP3K7 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 161-210

## 背景

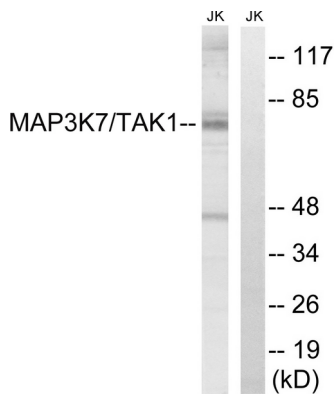
タンパク質キナーゼシグナル伝達カスケードの構成要素。TRAF6 および TGF- $\beta$  シグナル伝達のメディエーター。TRAF6 シグナル伝達

に応答して IKBKB および MAPK8 を活性化する。NF- $\kappa$ B 活性化および p38 MAPK 経路を刺激する。浸透圧ストレスシグナル伝達においては、MAPK8/JNK の活性化に主要な役割を果たすが、NF- $\kappa$ B の活性化には関与しない。

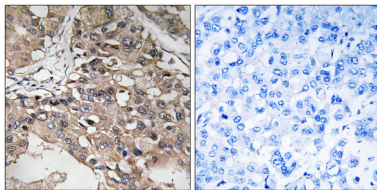
## 研究分野

シグナル伝達

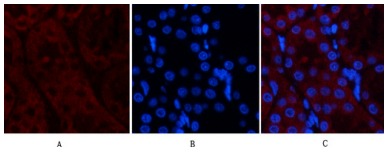
## 画像データ



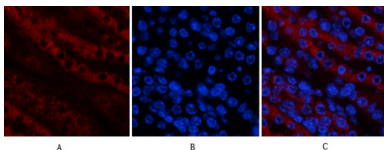
熱ショック処理した Jurkat ライセート中の TAK1 を TAK1 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングした。



TAK1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧・高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用しました。右側はブロッキングペプチドを添加したサンプルです。



Tak1 抗体 (赤) および DAPI (青) を使用したラット腎臓における TAK1 の免疫蛍光分析。



Tak1 抗体 (赤) および DAPI (青) を使用したマウス腎臓における TAK1 の免疫蛍光分析。